

しゃぼんだま

5月号

【 とんびの空 】



「トンビが鷹を生む」という諺があります。子供が親と比べはるかに豊かな才能を持ち、素晴らしい力を発揮することのようです。この場合、親は大きな喜びと安心を得るでしょう。

時々親が子供に、過度な期待と人生の課題を科すことがあります。生まれた時、「元気に育ってくればそれでいい。」と言っていた親が子供に、勉強や運動で優れた能力を求め、経済的な豊かさや高い人間性も兼ね備えるよう要求し始めます。もちろん、親が子の幸せを願ってのことであることはわかります。

しかし私の場合を含め大多数は、カエルの子はカエル。親の遺伝子を受け、生まれてきます。でも子ガエルには、親のそれとは異なった子ガエルなりの幸せな人生があります。さらに加えるなら、鷹がトンビを生むことさえあるかもしれません。完璧な人生を歩んで来た親から見ると歯がゆく、自身の子のだらだらした生き方に不満を持つことでしょう。親が求める生き方には遠く及ばない子も多くいます。でも、生まれてきたトンビは、親元を離れ、いつか自分の空を飛び始めます。親鷹から見ると、低空を、ゆっくりとした速度で、同じところを巡回しているだけに見えるかもしれません。しかし、彼は感じているはずで、木々の香りや小動物の息遣いを、川面のきらめきや花々の繚乱を。それらは、上空を瞬時に飛び抜けるだけでは決して気づけない、素晴らしい刹那だと思います。

お子様の人生を、お子様らしい人生を、冷静に見つめて応援してあげてください。

【 構音の間違ひの種類 】

- 1 省略:子音の脱落によるもの。
さら:SARA の S が省略されてしまい
ARA あら と発音
- 2 置換:特定の子音が他の音に置き換わる
からす:KARASU の K が T に変換
TARASU たらす と発音
- 3 ひずみ:標準音から微妙に違って発音
文字にしにくい、音がずれる感じ
- 4 添加:語の一部に余分な音加わる
つみき:ツミキリ
じどうしゃ:ジンドーシャ

○音の「誤り方」にはこの4つのタイプがあります。しかし「誤り方」が一貫している場合もありますが、浮動性がある場合もあります。それぞれの特性を理解し、粘り強く練習すれば、必ず修正されていくものです。周囲の大人は、落ち着いて明るく接していくことが大切です。

【 構音の基礎 】 その1

・構音の獲得にとって大きな要因になるのが、舌の柔軟な動きです。「食」はその基本的な動作を形成してくれます。食べ物を「そしゃく」するためには舌の動きが不可欠な要素となります。かみつぶすべき食物を口全体に広げていくことが、舌の大きな役割となるからです。

するめ、たくあん、キュウリ、ニンジン、ガム、ちくわ、肉、トーストの耳、干し芋……

口の中でいくらこねても溶けず歯で噛み砕いていかないと飲み下せないものが、舌の柔軟な動きを自然に作っていきます。

日常生活の中での、飲む・食べる・吸う等の動作は、構音の獲得に非常に大きな関わりをもっています。食が人間の成長を広い範囲に支えてくれていることを再認識させられます。

